



平成30年7月2日

西の子

学校だより 7月号
三島市立西小学校

(活動の様子は三島市立西小学校のブログで御覧いただけます。)

現在196692人

文責 校長 土屋 晃

【夢をもつことの大事さ】

5年生が先日、体育協会が主催している「ユメセンセイ」という取り組みで、藤枝MYFCの大石篤人監督をお招きして、夢について話を聴きました。

大石篤人監督は2年生でサッカーを始め、中学、高校と全国大会で3位になったり準優勝したりと活躍され、17才以下の全日本の候補選手にまでなったそうです。しかし、華々しさとはうらはらにケガで大きな挫折も味わいなが

ら、でも「プロのサッカー選手になる」という夢を諦めず、努力し続けたそうです。さらに大学に進学して大学日本1になり、夢はさらに広がり「いつかJリーグの指導者になる」という第2の夢に発展したそうです。大学卒業後はヴァンフォーレ甲府の選手となり、その後、高校の教員として指導者の道を歩むことになったそうですが、現在はJ1からJ3までいれると54チームの監督の1人になれたのは「夢」のおかげという話を熱く語ってくださいました。

今のみんなは勉強しだいで何にでもなれます。夢は人を前進させ、成長させるエネルギーになります。ぜひ、夢をもってください。すでに夢を持っている人はその夢を大事にしてください。そして、夢をあきらめないで努力を続けてください。なぜ、漢字を知らなくてはならないのか？なぜ、計算ができなくてはならないのか？それは、夢を実現させるために必要だからです。そして、大石監督のように勉強を続けることで、夢に広がりをもたせることができます。「プロサッカー選手になる」という夢が「Jリーグの指導者になる」に変化したように。本気でサッカーが好きなら、その仕事の裾野はかなり広いはずです。

好きなことを自分の職業にできたら、人はそれを幸せと言います。幸せな人生を送るためにも夢に向かって努力できる西の子になってください

【夢をもつことの大事さ2】

絵本作家の宮西達也先生が1・2年生にご自身の作品「はーい」「まねしんぼう」「はらぺこヘビくん」などを読んでくださいました。先生の語りに子どもたちはどんどん引き込まれ、先生の問いかけに大きな声で応えたり、にこにこの笑顔になったりとても楽しい時間を過ごしました。宮西先生は三島の子どものだ



めに14校を廻って読み聞かせをしてくださっています。そこには、絵本を通じて「夢」をもってほしいから…という願いが込められているそうです。

【夢をもつ大事さ3】

4年生が国語で「ドリームツリー」という学習をしました。将来の夢を現実にするためには今、何をがんばったらよいか、8年後どんな風になっていたのかを考えて、文章にして、発表しました。

未来を想定し、今をどう生きるのかを考えることは、幸せな人生を送るためには必要不可欠な条件です。この学習を生かして、1/2成人式や卒業式でのスピーチに生かしていきます。



【大阪北部地震の教訓】

6月18日(月)7時58分に発生した震度6弱の大阪北部地震と同程度のものが三島で起きたら、登校中の児童は家と学校のどちらか近い方へ向かいます。既に登校した児童は、晴れていればすぐに校庭に避難します。雨天の場合は体育館です。その後、安否確認をした後、家族の引き取りをお願いします。フェアキャストが使えるれば引き取りのお願いの連絡をしますが、使えない場合はマニュアルに沿って保護者の引き取りを待ちます。震度5強以上で授業は中止となります。

職員は子どもが安全に家族に引き渡された後、避難所運営の手伝いをします。避難所運営はあくまでも地域住民が自主的に運営するもので、子どもの安全確保、子どもの指導が優先されます。したがって、子どもが多数引き取りを待つような場合、すぐに体育館を避難所として開放できない場合もあります。

子どもだけで集団下校したり、学校の方が安全だと学校に留め置いたりすることはありません。その後も続くかもしれない余震や本震などに備えるためにも保護者にお返しすることを第一に考えます。

【大阪北部地震の教訓2】

ブロック塀の倒壊によって尊い命が奪われました。学校でもすぐにブロック塀を確認し、目視で点検しました。正門横のコンクリート壁とプールのシャワー、昔の用務員住宅の周り、校庭東の高鉄棒前の4箇所です。高鉄棒前については、即急に対応する予定です。

心配なのは通学路上のブロック塀です。家庭でもどこを歩いたら安全か今一度、確認してください。

【学校支援地域本部より】

学習支援・園芸・読み聞かせ等のボランティアを随時募集しています。無理の無い範囲でのご参加をお待ちしています。よろしくお願いいたします。